



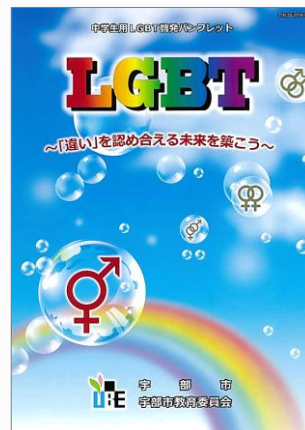
## 「違い」は「間違い」じゃない！ 互いを認め合える未来を

～未来を担う中学生たちへ、LGBT啓発パンフを配付～

本市は、「SDGs未来都市」として、その基本理念である“誰一人取り残されない”まちづくりを進めています。

このたび、LGBT等をはじめとする性的マイノリティの当事者の方たちが抱えている現状や課題等について理解を深めていただくため、市内の中学生を対象とした啓発用パンフレットを作成しました。

LGBT等については、近年、国際的にも新たな人権問題として大きく取り上げられるようになりましたが、差別や偏見を解消し、一人ひとりの違いを認め合えるようにするため、思春期を迎える子どもたちに対して、正しい知識を伝えていくことが重要であると考え、今回の配付に至りました。



中学生用  
LGBT啓発パンフレット

～“醜(かい)より始めよ”、LGBT当事者に寄り添う市役所へ～

性的マイノリティに関する人権問題については、社会的な関心は高まりつつあるものの、決して理解が進んでいるとは言い難く、市役所においても、利用者が安心して行政サービスを受けられるよう、来庁される方が当事者である場合など、あらゆる場面を想定し、適切に対応する必要があると考えています。

こうした現状を踏まえ、このたび、職員へのアンケート調査や庁内ワーキンググループで課題解決に向けた検討を行い、専門家のアドバイスも参考にしながら、ガイドラインを策定しました。

このガイドラインを広く活用し、これからも差別や偏見のない、誰もが自分らしく暮らせる共生社会の実現をめざしていきます。



宇部市職員向け  
LGBTガイドライン



庁内ワーキンググループによる検討会議



「宇部市パートナーシップ宣誓制度」を令和3年9月から導入します！



ウェブデータはこちら→  
(ウェブ番号 1011762)



## 被害者も加害者もつぐらない～DV防止に向けて～

～「宇部市配偶者暴力相談支援センター」へご相談を～

DVは、男性による身体的な暴力だけではありません。

「精神的暴力」(大声で怒鳴る、馬鹿にする、無視する等)や、「性的暴力」(性行為を強要する、避妊に協力しない等)、「経済的暴力」(生活費を渡さない等)、「社会的暴力」(外出させない等)など、その種類はさまざま、多くの場合、1種類だけでなく、いくつかの暴力が重なり合って起こります。

継続的なDVにより無気力となり、加害者から言われるままに子どもを虐待してしまうことも。

暴力は人として恥ずべき行為であるとの認識を、皆で共有できる社会を築いていきましょう。



フジグラン宇部での街頭啓発

相談窓口はこちら

専用電話 さあさあ、ヨロシク  
**33-4649**

日時 月～土 9～16時

費用 無料

※祝日、年末年始は除きます。  
男性相談は予約が必要です。